

あの街
この町

〈その5〉 国府台

◎国府台

国府台は下総の国府の置かれた台地ということからつけられた地名です。

一丁目―真間山弘法寺の北側が論田、市民体育館前は六所神社(下総の総社)の置かれた所、そこから南、商科大学にかけた短冊形の土地を府中といいました。府中の東側は真間五丁目から続く久保上、そして府中を取りまく形で野球場を含め、カギの手に宮之脇(六

所神社の脇の意)、真間山下から県育英会館にかけた地域が国府台です。また、精神衛生研究所から伝染病隔離病舎にかけて町畑、国立国府台病院のある所が元町、その東が池端道で、8番が町山、11・13番が不入斗です。

二丁目―全域が崖上です。

三丁目―1・8番と11番の一部が明戸、河川敷が柳原、台地下の通路までが川通、その東、総寧寺を含めた地域が西桜陣、11・12番が東桜陣です。この地域は国府台城跡で、いまの里見公園が城の中心でした。

四丁目―1・4番と9番の一部が境松、5・8・9番が南三漢作、6・7番が

北三漢作です。松戸へ突き出した三角形の部分が丸山、目に続く元町と池端道、その南へ入り込んだ谷津の部分の北部が乞食前、26番が佐々間塚、他は池の台です。六丁目―全域が新山です。

